

市民の命を守るための 救急の対策を

紀 由紀子(公明党)

①市民の命を守るための救急の対策について、「救急医療情報キット」を導入しないか。高齢者や障害者等が、かかりつけ医・服薬内容・緊急連絡先など救急措置に必要な情報を容器(救急医療情報キット)に収め冷蔵庫にあらじめ保管しておき、急病等



救急車の救急措置を受ける際、情報を活用し、救命活動に役立てるもので日本では、港区が先駆けている。
福祉保健部長 検討させていただきたい。

②AED(自動体外式除細動器)の市内の設置場所を官民含めて市のホームページに携帯版ホームページにも表示

しないか。愛知万博ではAEDで4人の命を救った。市ではAEDを50か所に設置しているが、救急の時、設置場所がすぐにわからなければ救命できないので、携帯版ホームページ等の表示を行っていたきたい。
総務部長 AEDの設置場所を市民に周知する必要性は十分認識している。民間については今後検討する。携帯版は情報システム課と協議する。その他、「出産育児一時金の更なる拡充を」の質問。

住宅に困っている人に どう手を差し伸べるか

関根優司(日本共産党)

①小金井市内には空き家は5千400戸、全国的にも12%が空き家である。社会的に住宅は余っているのに住宅に困っている人は大勢いるというミスマッチがある。4月に公営住宅収入基準が引き下げられた。これにより明渡しを迫られる人が出る。柔軟な対応を



すべき。
まちづくり推進課長 市営住宅の収入超過者は現在7名5年間の経過措置終了後には8名になる。一定金額の上乗せを家賃にすれば住み続けることができる。明渡しを求められる高所得者はいない。
②ヨーロッパでは、社会的な余剰住宅の活用としても家

賃補助制度がある国がある。公営住宅の入居を希望し、入居基準をクリアして抽選にもれた人などに家賃補助制度をつくらどうか。
まちづくり推進課長 他市で始めれば小金井市でも研究したい。
③年金など収入は一定あるが、保証人がいない人などに公的保証人制度をつくらどうか。
まちづくり推進課長 現在は保証人協会等を通じてお願



COCOバス運行見直し

ココバス運行改善策を 問う

露口哲治(自民党小金井)

ココバス貫井・前原循環では、府中の新町に隣接する貫井南町地域へのルート拡大や東町、中町循環の効率的運行そして野川・七軒家循環では増便の要望が届いている。(ア)黒字路線と言われる北東部循環と東町、中町循環を一本化した場合の距離を比較すると



おおむね1対1.3である。東町、中町循環を一本化し、便数を増やすべきだ。(イ)野川・七軒家循環は貸切りバスの特例で運行している。早期の一般乗合いバスとしての認可を受けるように。(ウ)野川・七軒家循環は駅前始発になってから利用客が倍増し、乗り残しが発生している。解消策を。



色弱体感レンズ

消費者行政サービスの 向上を提案する

小林正樹(公明党)

①消費者問題が深刻化している現状から、国では消費者庁を発足させたが、小金井市においても現状の消費者行政サービスを向上させることができないか。(ア)「消費生活相談室」をもっと組織的に明確にし、充実した形で「消費者センター」として設置できな



いか。(イ)非常勤職員である相談員の雇用を安定化することで、更に、スキルアップに力を入れられるのではないかと。
市民部長 (ア)現在策定中の第4次基本構想基本計画の中で、行政全体の施策の一つとして整備を図ってまいりたい。(イ)現行の規定の中で、安定した相談体制の整備に努めてま

予定。(ウ)サクラ関連団体の窓口は生涯学習課が受け持つ。
②市内全体のサクラを活用したまちづくりの検討。(ア)さくらサポーター制度の導入を。(イ)さくらファンドの創設を。(ウ)「桜憲章」、「桜保護条例」の検討を。
環境部長 (ア)市の「玉川上水・小金井桜整備活用計画」を策定する中で検討したい。(イ)研究課題としたい。
市長 桜は小金井市のシンボルである。市民とともに桜を育成していきたい。

「名勝 小金井桜」の復活で まちづくりを

村山秀貴(民主・社民)

①今年8月に東京都は「史跡玉川上水整備活用計画」を発表し平成22年度から10年間で往年の山桜並木を取り戻す方針を明らかにした。小金井市の対応を問う。(ア)桜の苗木育成や補植の予算措置は。(イ)市民団体との協働について早



めに役割分担を協議する場を。

(ウ)市内のサクラについて行政内部の窓口一本化を。
生涯学習部長 名勝小金井桜復活の大きな機会と捉え9月補正予算に「玉川上水・小金井桜整備活用計画」を策定するための委託費用を予算計上した。(ア)前向きに検討する。(イ)計画を策定する中で団体の調査を行い協議の場を設ける

CO2削減はLEDで 新ごみ処理は非焼却で

斎藤康夫(市民会議)

①CO2削減は地球温暖化防止のために各国が取り組まなければならない最重要課題である。民主党のマニフェストでは、2020年までに25%削減を明記した。小金井市としてもできることは最大限の努力をすべきである。街路灯や防犯灯・公園灯をLEDに



替えることによりCO2削減、電気料金、維持管理費の削減をすべきである。
都市整備部長 LEDに替えばCO2の削減は50%。初期投資を考えると、8年間程度で同じ経費額になる。
交通対策課長 LEDの研究は我々もやっている。実験的に市内2か所設置している。



「国の名勝」に指定されているヤマザクラ「小金井」の並木群

市長 白熱灯は作らないというメーカーも出てくるという時代の変化が来ている。今後の導入を計画的にやっていく必要がある。
②可燃ごみ処理の新技术研究プロジェクトチームを設置すべきである。加水分解や炭素化等の非焼却施設が実際に稼働を始めた。他自治体の研究も具体的に進んでいる。
ごみ処理施設担当部長 全国的な情報を含めて、今後なお国分寺市と一緒に情報収集していきたい。